

ふれあいかんだより

9

かわさき かん
川崎市ふれあい館

くじょうかいけつせきにんしゃ ちえ かんいちゃ
苦情解決責任者 崔 江以子
すずき けん
鈴木 健

かわさきしかわさきさくらもと
〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL : 044-276-4800
http://www.seiky-sha.com e-mail : fureaikan@seiky-sha.com

かわさきしよかん みらいきよせいしやうねんしえんしつ
川崎市所管 こども未来局青少年支援室 (TEL044-200-3083)

2026.9.1

No.449

おにぎりキャラバンを実施しました。



7月28日(水)にふれあい館で「おにぎりキャラバン」が行われました。社会福祉協議会をはじめとする関係機関の方や高校生ボランティアが来館した子どもたちにおにぎりの作り方やお米のとぎ方、脱穀のやり方などを教えてくれました。参加した小学生は「これで9個目のおにぎりだよ～」と驚くような報告、そして脱穀した後に出る糠を団子にしてみたりと普段できないような経験をさせてもらいました。おにぎりを自分で作ることは貴重な体験でしたね。これからもお米を大事に食べましょうね

キャンプに行ってきました。



8月6日・8月7日の2日間で山梨県にある両国橋キャンプ場へサマーキャンプに行きました。学習サポート教室の小学生、中学生の6つのクラスとハロハロクラブとサポーターを含め総勢68名が参加しました。キャンプ場では昼間は川遊び、夕方からは火起こしチャレンジをして子どもがみんなで付けた火を使いバーベキューでお肉をたくさん食べました。メインディッシュの後は残った炭火で焼きマッシュマロのデザートを食べ、最後は花火で1日目を締めくくりました。2日目も天気に恵まれて最後まで川遊びを行い、天候にも恵まれてキャンプを満喫することができました。

多文化交流学級を実施しました。



7月17日(金)に多文化交流学級にて、高齢者交流クラブ「トラジの会」のハルモニたちをゲストに招き、識字学級の学習者・共同学習者のみなさんとともに夏の交流会を実施しました。ハルモニたちによる韓国・朝鮮の民謡や童謡の披露、学習者たちによる自国の民族衣装やお祭り文化の紹介、チマチョゴリや浴衣の衣装体験、そして、ハルモニたちからオリジナルのトラジ音頭を教わり、みんなで盆踊り体験をして、充実した時間を過ごしました。最初は緊張していた方も時間が経つにつれて笑顔になり、盆踊りでは会場が一体感に包まれました。地域の大先輩ハルモニたちと、後輩の学習者たちとの交流が実現し、大変貴重な機会となりました。

ふれあい館 9月の予定

こども部門

子育て支援、児童の放課後生活の援助、こどもの学習と文化活動の支援

●こそだて支援・・・乳幼児とおとなのためのプログラム 〈定例のプログラム〉

ぴよぴよタイム Café ろば	14日（月）	10:30～11:30	お子さんの身体測定と保護者のおしゃべり会です。
つくってあそぼ	24日（木）	10:30～11:30	10月のハロウィンパレードに向けて工作をします。
小麦粉ねんど	28日（月）	10:30～11:30	色付きの小麦粉ねんどで遊べます。 ※アレルギーの方はご遠慮ください。

歯磨き質問会

●日時 16日（水）10:30～11:00

お子さんの大切な乳歯を育むためのお手入れ方法や食べ物などについて学びませんか？
申し込みはろばまで。

保育園入所説明会

●日時 30日（水）10:30～11:30

来年4月からの保育園入所を希望される方向けに、保育園の探し方や申請手続きの方法について区役所の方が説明してくれます。申し込みはろばまで。

キッズスペースろばではママたちの活動中の保育支援をしています。くわしくはキッズスペースろばまで

●小中学生プログラム・・・ 他にプログラムがあるよ♪ くわしくはたより（あそぼ）をみてね

ストラックアウト	18日（金）	4時～	新プログラムのストラックアウトです。高得点を狙おう！
----------	--------	-----	----------------------------

ふれあい館の小中学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月1回（あそぼ）があります。

●民族文化サークル

舞踊クラブ	毎週 火曜日	4時～5時	毎週火曜日の放課後に活動しています。
ハロハロクラブ	毎週 水曜日	3時～6時	学校の宿題や、色々な国の遊びや文化を学びます。
子どもチャンゴ	毎週 金曜日	4時～5時30分	毎週金曜日の放課後に活動しています。

●中高生の活動

小・中学生学習	毎週 火・水・木曜	7時～9時	主に新渡日外国人の小・中学生（水曜日・土曜日）、および経済的に困難で学習塾に行けない中学生（火曜日・木曜日）の基礎学力保障のための学習会
サポート	毎週土曜	1時～3時	

● 成人部門

ふれあい館民族文化講座 「**プンムルノリ入門講座**」・「**ソゴ・サンモ講座**」

講師：李理恵子さん
 朝鮮半島の伝統打楽器を学びませんか？

● **プンムルノリ入門講座** 9月19日（土） 9月26日（土） 13:00～15:00

● **ソゴ・サンモ講座** 9月19日（土） 9月26日（土） 15:15～17:15

場所：川崎市ふれあい館 参加費：無料（定員10名）動きやすい服装でご参加ください。
 申し込み：9月7日（月）から電話か来館で受け付けています。 電話：044-276-4800
 主催：川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会

「**한글入門講座**」

講師：李相粉 先生
 内容：読み書きを中心にゆっくりと丁寧に学んでいきます
 期間：2026年9月28日（月）～12月14日（月）
 曜日・時間：毎週 月曜日（全10回） ※休日はお休み 午後19:00～20:30
 場所：川崎市ふれあい館 参加費：無料（定員20名） 持ち物：筆記用具
 申し込み：9月7日（月）から電話か来館で受け付けています。 電話：044-276-4800
 主催：川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会

人権尊重学級part1
 「人権から拓く、ともに生きる社会—出会い、記憶、平和を巡って—」

10月10日（土） 「小さな『はて？』から始まる人権と平和—ともに社会を考える—」
 13:30～15:20 講師 吉田恵里香さん（脚本家、小説家）

「なぜそうなっているのだろうか」「誰かが我慢して成り立っていないだろうか」日常の中の小さな「はて？」は、社会を見つめ直す入口になるかもしれません。人権や平和を、特別な言葉としてではなく、日々の暮らしや身近な関係の中から考えませんか。

● 会場 川崎市ふれあい館（川崎区桜本1-5-6） ● 参加費 無料 ● 定員60名（先着順）
 ● 申し込み 9月1日（火）10時より受付開始 二次元コード（Googleフォーム）または電話でお申込みください。
 ☎ 044-276-4800 二次元コード 

※人権尊重の啓発、民族差別の克服、共に生きる地域社会の創造を目的とした講座です。趣旨をご理解のうえ、ご参加ください。

主催 川崎市ふれあい館 川崎市教育委員会

● 識字学級

曜日	毎週 火曜日・金曜日	参加費	無料（教材費は実費）
時間	10:00～11:30	9月1日（火）から再開	

● 高齢者 在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

在日高齢者交流クラブ「**トラヂの会**」

在日高齢者の自主活動です。感染予防をしながら活動します。10時30分から活動しています。詳細やご相談は044-276-4800までお電話ください。

社会福祉法人青丘社では、日本語が壁になって様々な行政サービスにつながりにく
なっている外国につながる方々の様々な手続きをお手伝いする活動を行っています！

●在日の想いに語る会

●日時 9月11日(金) 17時15分開場 17時45分開始 ●場所 川崎市ふれあい館2Fホール 桜本1-5-6

「ふれあい館の機能と多文化共生の取り組み」

参加される方は必ず事前にお申込みください。問い合わせ 044-276-4800 fureaikan@seikyu-sha.com

※多文化共生を推進するための学習会となります。趣旨をご理解のうえご参加ください。



▽釣りははじめて
10年になります。

最初は家に閉じこも

りがちなわが子に、
自然に親しんでほし

いと願いをもって

連れて行っていたのですが、気づけば私
ひとりで海にでかけるようになってしま
いました。▽夜も明けないうちからしど
くをして家をでる船釣りは、たいてい一人
で行っています。夫婦で出かけたことも
ありますが、2人で行くとひとりが釣れ
てもう一人は釣れないということが多く、
夫婦の溝が深まりそうになったためです。
ぼっちだと、気楽だし、隣になった人に
釣り方を教えていただいたり、時には魚
をプレゼントいただいたりとコミュニケ
ーションをたのしめます。▽10年続けて
いるといっても、不勉強ゆえに釣果が
芳しく伸びるということはありません。
ふねに乗る前に調べるのは釣果を伸ばすた
めの勉強ではなく、『釣れたらうれしい』
魚の料理方法ばかり。取らぬ狸の
皮算用。釣りの腕前よりは、魚さばきの
腕前のほうが上達しているようです。▽
ところで、天然真鯛の口のなかにはタイ
ノエという寄生虫がいるのをご存知で
しょうか。グソクムシに似ている生き物
です。ダンゴムシの10倍くらいの、結構

な大きなので、釣った鯛の口からタイ
ノエが出てくると「おお！」と驚いてし
まいます。▽「寄生」は、海のなかの「共生」
の3分類のひとつにあたります。「寄生」
とは一方にしか利益がなく、もう一方は
不利益を被るだけという関係です。タイ
ノエは鯛の舌に寄生して栄養を取り続け
ます。鯛にとっていいことはありません。
残り2つの「共生」には、両方の生き物
に利益がある「相利共生」、一方の生き物
のみに利益がある「片利共生」がありま
す。「寄生」も「共生」という括りのなか
にあることに驚きますよね。▽翻って、
陸の世界では、今がどのような「共生」
が行われているのでしょうか。そして、
人間のめざす「共生」は「相利共生」一択
と考えるのですが、法や施策がこれと違
う方向で動いているのはなぜなのでしょう
う。英知や倫理を手にかけている人間がど
うして「相利共生」への手順を追ってい
けないのでしょうか。▽さて、これまで鯛
を釣ったとき、タイノエには速やかに海
にお帰りいただいてきましたが、調べて
みると、このタイノエは海老よりおいし
いらしいことがわかりました。というこ
とで、今度鯛が釣れたときはタイノエを
料理してみようともくろんでいます。と、
また捕らぬ狸の皮算用・・・(K)